

登録番号	沖繩777	氏名又は名称	遊漁太郎		
作成日	R6/4/1	変更日	1: / /	2: / /	3: / /

別表 1 業務の実施体制等

事業者の氏名又は名称(法人にあつては代表者の氏名も記入)	遊漁太郎			
業務主任者	氏名	業務主任者講習の 修了証明書の日付		
	遊漁太郎 遊漁次郎	RO/O/O RO/O/O		
船長	氏名	特定操縦者 免許の資格	特定操縦者 免許の有効期間	
	遊漁太郎 遊漁次郎	1級 2級	RO/O/O RO/O/O	
連絡責任者※	氏名	住所(連絡先)	メールアドレス	
	遊漁花子	那覇市泉崎1-2-2 (123-456-7890)	abcd@efg.hi.jk	
従業者※の人数	2 人			
ホームページ等インターネット上で公表する情報を公表する手段の有無※(該当に○)	() 有 (○) 無			
所属している団体等 (該当するもの全てを記入)	漁業協同組合	事業協同組合 企業協同組合等	任意団体	法律26条に 基づく協議会
	名称	〇〇漁業 協同組合	〇〇漁業組合	〇〇釣り組合
	連絡先	123-456-7890	123-456-7890	123-456-7890
営業期間(該当に○)	(○) 通年 () 月 日 ~ 月 日			
遊漁船	船名	船舶検査証の 航行区域	船舶検査証の 有効期間	
	A丸 B丸		RO/O/O RO/O/O	
	上記の遊漁船のうち同時に営業する隻数 (1) 隻 ※同時に営業する隻数に対して、船長及び業務主任者の数が 不足する場合はその理由を記載 ()			

無に該当する場合は、p.8の文章を修正してください。

※連絡責任者：営業中は陸上において洋上の船長及び業務主任者と常に連絡が取れる者

※連絡責任者の連絡先は携帯電話があれば優先して記載

- ※従業者：事業者の下で常時従事する者（船長、業務主任者、その他乗組員、連絡責任者等）
- ※インターネットでの公表が不可能な場合は、営業所において、利用者にわかりやすいよう提示

登録番号	沖縄777	氏名又は名称	遊漁太郎		
作成日	R6/4/1	変更日	1: / /	2: / /	3: / /

別表2 案内する漁場の位置及び安全管理の体制

案内する漁場を管轄する都道府県名	沖縄県
------------------	-----

安全管理を行う者	業務主任者 遊漁太郎、遊漁次郎
----------	-----------------

船釣り

船名	時期	案内する漁場の位置※	採捕させる主な水産動植物の種類	漁場における安全管理の方法(該当に○)
A丸	通年	○○沖 ○○湾内	グルクン アジ	<input type="checkbox"/> 周囲の見回り <input type="checkbox"/> 船内の見回り <input type="checkbox"/> 乗客の安全管理 (体調、救命胴衣着用の確認等) <input type="checkbox"/> 僚船・陸上との情報交換 (気象・海象等) <input type="checkbox"/> 航行に影響しかねない漂流物の確認等 <input type="checkbox"/> その他 ()
	7~8月	○○島周辺海域	ミーバイ	
B丸	通年	○○島沖	マグロ類	

※案内する漁場の位置については、地図・海図等がある場合は添付

瀬渡し

船名	時期	案内する漁場の位置※	採捕させる主な水産動植物の種類	漁場における安全管理の方法(該当に○)
A丸	通年	○○沖磯 (別添) ○○沖防波堤	アジ ミーバイ	<input type="checkbox"/> 周囲の見回り <input type="checkbox"/> 船内の見回り <input type="checkbox"/> 乗客の安全管理 (体調、救命胴衣着用の確認等) <input type="checkbox"/> 僚船・陸上との情報交換 (気象・海象等) <input type="checkbox"/> 航行に影響しかねない漂流物の確認等 <input type="checkbox"/> その他 ()

※案内する漁場の位置については、地図・海図等がある場合は添付

その他（ **観光定置網** ）

船名	時 期	案内する 漁場の位置※	採捕させる主な 水産動植物の種類	漁場における安全管理の方法 (該当に○)
B丸	通年	〇〇沖	アジ キハダ ムロアジ	<input type="checkbox"/> 周囲の見回り <input type="checkbox"/> 船内の見回り <input type="checkbox"/> 乗客の安全管理 (体調、救命胴衣着用の確認等) <input type="checkbox"/> 僚船・陸上との情報交換 (気象・海象等) <input type="checkbox"/> 航行に影響しかねない 漂流物の確認等 <input type="checkbox"/> その他 ()

※案内する漁場の位置については、地図・海図等がある場合は添付

登録番号	沖繩777	氏名又は名称	遊漁太郎		
作成日	R6/4/1	変更日	1: / /	2: / /	3: / /

別表3 遊漁船の係留場所等

	遊漁船の名称	主要な時期	係留等場所の位置・名称	係留等場所・施設の管理者
遊漁船の係留場所	A丸 B丸	通年 通年	〇〇市〇〇漁港A岸壁 〇〇市〇〇港船溜まり	〇〇市 〇〇市
利用者の乗降場所			係留施設に同じ	

※インターネット又は営業所での掲示等により公表すること

登録番号	沖縄777	氏名又は名称	遊漁太郎		
作成日	R6/4/1	変更日	1: / /	2: / /	3: / /

別表4 (全 1 枚の 1 枚目) 遊漁船の総トン数又は長さ、定員及び通信設備等

整理 番号	遊漁船の 名称	船舶番号・ 漁船登録番号等	総トン数	長さ	旅客定員 又は 利用定員	業務形態 主たる業務：◎ その他全て：○	
		航行区域 (該当に○)					
		遊漁船の使用状況 (該当に○)					
		遊漁船の記載状況 (該当に○)	通信設備※1の状況 (該当に○)	救命設備※1の状況 (該当に○)			
船舶の所有状況 (該当に○)							
1	A丸	296-000000 ON2-0000	5 トン	7 m	5 人	(○) 船釣り (○) 瀬渡し※2 () その他 () ()	
		() 平水・() 限定沿海・(○) 沿海・() 遠洋、近海					
		() 遊漁船専用 (○) 漁船と兼用 () 他使用と兼用					
		(○) 単独記載 () 重複記載※3	() 業務用無線 () 衛星電話 (○) その他 (携帯電話)	() 改良型救命いかだ () EPIRB (非常用位 置等発信装置) () AIS (船舶自動識 別装置) () その他 ()			
		(○) 自己所有船舶 () 他者所有船舶					
		() 平水 () 限定沿海 (○) 沿海 () 遠洋、近海 () 遊漁船専用 (○) 漁船と兼用 () 他使用と兼用					
2	B丸	296-0000 ON2-000000	10 トン	10 m	10 人	() 船釣り () 瀬渡し※2 (○) その他 (観光定置網)	
		() 平水 () 限定沿海 (○) 沿海 () 遠洋、近海					
		() 遊漁船専用 (○) 漁船と兼用 () 他使用と兼用					
		(○) 単独記載 () 重複記載※3	(○) 業務用無線 () 衛星電話 () その他 ()	() 改良型救命いかだ () EPIRB (非常用位 置等発信装置) () AIS (船舶自動識 別装置) () その他 ()			
(○) 自己所有船舶 () 他者所有船舶							
重複記載※3 している場合の事由		() 多客期にチャーターするため () その他 ()					

通信設備や救命設備について、義務づけ前や対象外のため備え付けていない場合は空欄で可

義務づけ前や平水区域でサービスエリア圏内であれば携帯電話も可

- ※1 通信設備及び救命設備については、船の種類や航行区域等に応じて国土交通省が定める要件に適合するものであること
- ※2 利用者を特定の場所に下船させて水産動植物を採捕させる業態を指し、磯渡し、筏渡し、防波堤渡し、沖で干出する場所での潮干狩り等が該当 (法令等で立入禁止の場所に渡すことはできない)
- ※3 他の事業者の遊漁船として登録簿に記載されている船舶を当該事業者の遊漁船としても記載されているもの

登録番号	沖繩777	氏名又は名称	遊漁太郎		
作成日	R6/4/1	変更日	1: / /	2: / /	3: / /

別表5の1 出航前の検査関係（検査項目例）

船体の検査	
1	船体に亀裂や破口はないか。
2	エンジンルームや船底のビルジ（汚水）の量は普段より多くないか。
エンジンの検査	
3	航海計画に見合った燃料は十分にあるか。
4	燃料コック（バルブ）は開いているか。 燃料フィルターやセジメンター（油水分離器）にゴミや水分の混入はないか。
5	エンジンオイル（潤滑油）の量は十分か。
6	冷却清水の量は十分か。
7	バッテリーの液量は十分か。また、ターミナルは十分締め付けられているか。 バッテリーの耐用年数は切れていないか。
救命設備等その他の検査	
8	救命胴衣を着用したか。利用者に救命胴衣を着用させたか。
9	通信手段の充電量、予備バッテリーを確認したか。
10	気象・海象情報、水路情報は確認したか。
11	船の種類や航行区域等に応じて国土交通省が定める要件に適合した通信設備及び救命設備を搭載しているか。
12	落水者救助用の梯子は使用可能か。
13	瀬渡しの際に使用するステップ等は搭載しているか。
14	釣具・漁具等が安全な状態に設置・格納されているか。
エンジン始動後のエンジンの状態確認	
15	回転計、冷却水温度計、油圧計、電流計、電圧計は正常値を指しているか。
16	冷却用の海水は通常どおりの量や勢いで排出されているか。
17	エンジンから異常な音やにおいは出していないか。

出航前検査記録簿（様式例）

確認項目	4 / 1	/	/	/	/	/
1	✓					
2	✓					
3	✓					
4	✓					
5	✓					
6	✓					
7	✓					
8	✓					
9	✓					
10	✓					
11	✓					
12	✓					
13	✓					
14	✓					
15	✓					
16	✓					
17	✓					
備考 (異常時の 対応等)						
確認者名	遊漁太郎					

※確認時に項目に✓を入れる。

※インターネット又は営業所での掲示等により公表すること

登録番号	沖繩777	氏名又は名称	遊漁太郎		
作成日	R6/4/1	変更日	1: / /	2: / /	3: / /

別表6 安全の確保のため船長及び業務主任者が遵守すべき事項

<p>航行中及び利用者が水産動植物を採捕している間、船長及び業務主任者は以下のとおり行動します。</p> <p>○一般的事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出航から帰航するまでの間は、飲酒はしません。また、酒気を帯びて漁場に案内しません。 ・ 航行中、波の影響により船体が動揺するときは、波の状況について適切な見張りを行うとともに、波に対する進路の変更を行い、かつ、安全な速力まで十分な減速を行うことにより、船体動揺の軽減に努めます。 ・ 航行中、波の影響により船体が動揺して危険が予想されるときは、利用者に対して動揺が比較的小さい船体中央より後方の部分に乗船するよう指導します ・ 乗船中は、船室内にいる場合を除き、救命胴衣（船に備え付けられ、又は持ち込まれた、船舶の種類や航行区域に応じて国土交通省が定める要件に適合するものをいいます。以下同じ。）を着用します。 ・ 乗船中は、船室内にいる場合を除き、利用者に常に救命胴衣を着用させます。 ・ 12歳未満の小児には、乗船中は、常に救命胴衣を着用させます。 ・ 利用者の乗降場所から漁場又は漁場から漁場までの間における岩場、浅瀬、河川域、防波堤、定置網、養殖施設等を調査し、危険性の評価を行い、特に危険と認められる場所について、別添にとりまとめ、安全に航行できる航路、避險線等の設定を行います。 ・ 航行中はGPSプロッター等を利用して自船の位置を確認し、上記で設定した航路の航行、避險線に基づいた安全な航行を行います。 ・ 随時、気象や海象等に関する情報収集を行い、気象又は海象等の状況の悪化等、利用者の安全の確保のために必要と判断される場合は、船室内においても利用者に救命胴衣を着用させます。 ・ その他（) <p>○船釣りをする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者を案内している間は、船長及び業務主任者は自ら釣りをしません。 <p>○瀬渡しをする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の安全確認のため、渡した磯等を定期的に巡回します。 ・ 磯等において、利用者には常に国土交通省が定める要件と同等以上の性能を有する救命胴衣を着用させます。 ・ 磯等において採捕を終了した利用者を収容し帰航する際、利用者が遊漁船に乗船していることを確認します。 <p>○体験漁業（観光定置、観光底びき等）をする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が網揚げ等をしている間、利用者に危険が生じないよう安全に操業します。
